

学年	中3	教科	音楽	科目	音楽	単位数	1
教科書名	中学生の音楽3(教育芸術社) 中学生の器楽(教育芸術社)			副教材名	音楽のキャンパス3(教育芸術社)		
クラス・コース	総合・スポーツ・芸能			担当者名	山本堅太郎・山本 みずき		

I. 目標

楽曲構成の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創造的に表現できる能力を高める。
音楽に対する総合的な理解を深め、幅広く鑑賞する能力を高める。

II. 授業のねらい

歌唱・曲の理解を深め、表現の工夫を主体的に演奏する。
・合唱を通して、和声感を身につけ、総合的な音楽の能力を高める。
器楽・アンサンブルを通して、相手の音を聴き、響きの良さ、魅力を感じ、演奏の幅を広げる。
鑑賞・音楽と芸術の関わりや背景を理解し、音楽を愛好する心情や、感性を豊かにする。

III. 授業の進め方

発声練習をし、声を鍛えながら、教科書やプリントを使い歌唱は必ず毎回行う。
ワークやプリントを使いながら鑑賞をし、記録をとる。

IV. 学習上の留意点

発声練習をしっかりと行い、声を前に飛ばして、正しい発声で歌うこと。
ただ演奏や鑑賞をするのではなく、主体的に音楽を捉えること。

V. 定期試験

各学期に、歌唱、アルトリコーダー、小テストを行い、観賞ノートや授業態度を総合的に判断して評価する。

1学期中間：歌唱試験 「花」

1学期期末：リコーダー試験「ラヴァーズコンチェルト」、小テスト

2学期中間：歌唱試験「サンタルチア」

2学期期末：リコーダー試験「ふるさと」、小テスト

学年末 : 歌唱試験「早春賦」、小テスト

VI. 評価の方法

実技試験を中心に、各学期末の小テストの他、歌唱や合唱、観賞の記録など意欲的に取り組んでいるかななどを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	年間を通して、発声は毎回行う。 ・歌唱「花」	<ul style="list-style-type: none"> ・情景の豊かさに関心を持ち意欲的に練習に取り組んでいるか。 ・歌唱テスト ・楽器の変化を理解し生みだされる楽曲の全体の変化を聴きとろうとしているか。和音の響き声部の掛合いを感じ演奏しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容から情景を豊かに感じ取り、それを生かした表現を工夫する。 ・楽曲、作品に関する時代背景や歴史的、民族的、社会的意味について関心をもつ。歌声の魅力を、音色や風土と関わらせて聴く。 ・2重奏を通して相手の音を聴き、演奏の幅を広げる。
	5	・鑑賞「ベートヴェン:交響曲第5番」 ・歌唱テスト「花」		
	6	・鑑賞「展覧会の絵」 ・アルトリコーダー「われは海の子」		
	7	「ラヴァーズコンチェルト」 ・リコーダーテスト/小テスト		
二学期	9	・歌唱「サンタルチア」 →歌唱テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現の技能を身につけようと意欲的に練習に取り組んでいるか。曲の仕組みやオケに関心を持ち、多様な表現を積極的に聴き取ろうとしているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・速度や強弱、転調による曲想の変化を感じ取り、それを生かし表情豊かに歌唱する。作品の仕組みを理解させ、音色や楽器の多様な組み合わせによる表現の豊かさを味わう。
	10	・合唱の練習 ・鑑賞「歌舞伎」		
	11	・鑑賞「ブルタバ」 ・アルトリコーダー		
	12	「威風堂々」、「ふるさと」 ・リコーダーテスト/小テスト		
三学期	1	・歌唱「早春賦」→歌唱テスト ・アルトリコーダー総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・曲に相応しい表現をしようとしているか。 ・歌唱テスト ・特徴的な表現と音楽の関係に関心を持ち、楽曲全体の特徴を感じ取っているか。 ・指導に対して目標を持ち練習に打ち込んでいるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞から作者の心情を感じ取り、旋律のまとまりを生かした表現を工夫させる。 ・音楽の背景となる歴史や文化とともに表現の特徴や多様さを聴きとらせる。 ・豊かな響きのある声で表現させる。
	2	・鑑賞「西洋音楽史」まとめ ・合唱の練習		
	3	・卒業式歌の練習 ・小テスト		

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。